



園長だより



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。皆様はどのような年末年始をお過ごしになられましたでしょうか。私は、元旦は金武と石川の教会の新年礼拝にてお話をさせていただき、その後、妻の実家にてゆっくり過ごさせていただきました。5か月の息子の初飛行機ということで心配でしたが、あまり騒がずに、無事に着くことができました。

さて、新しい年に入ると、新年の目標を立てる方が多いのではないのでしょうか。また、様々な場で「新年の抱負は？」と聞かれることがあるかもしれません。皆様はすでに今年目標をお立てになられましたでしょうか。私は定期的な運動をしたいなと思っています。大学生の頃にはダンベルでトレーニングをしていた時期がありましたが、最近ではすっかり運動不足になっていました。昨年奮発して60kgのダンベルセットを買い、1ヶ月ほど続きましたが、忙しくなり、ダンベルセットが置物になってしまいました。大学時代の細身のズボンが入らなくなっており、危機感を抱き始めている今日この頃です。今年こそはダンベルを有効活用！と意気込んでいます。

また、今年は一日一日を大切にしていきたいなと思います。去年は子供が生まれ、あっという間に成長しました。最近では少しハイハイで前進できるようにまでなるところを見ると、成長の一瞬一瞬を大切にしないと、気が付いたら大学生になっているのだろうか、と思っているところです。

去年の講演会の準備をしている時、大津秀一というホスピス（緩和医療）医の方の「死ぬときに後悔すること25」という本を読む機会がありました。この方は長い間ホスピスで末期ガンの方とかかわってこられた先生です。そして様々な方が、死ぬ前にあれをしておけばよかった、これをしておけばよかったと言うのを聞き、そのことを本にされたのです。少し、私と宗教観の違いなどはありましたが、興味深い本でした。私たちの年代では終活などということを考えるのはまだまだ先だと感じるかと思います。しかし、毎日を大切に、あとで振り返った時に満足ができるような生活を日々心掛けたいものだなと思いました。

聖書の中にはパウロという人物がいます。新約聖書の大部分を書き、様々な町をめぐり、キリスト教の宣教に人生をかけた人でした。もともとはキリストを信じる人達を迫害し、牢屋に引っ張っていき、キリスト教徒に恐れられていた要注意人物でしたが、後にキリストに出会い、人生が180度転換したのです。このパウロが書いた、このような言葉があります。「わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。」（2テモテ4：7）彼は人生の終盤に差し掛かった時、「悔いはない！」と宣言することができたのです。私たちもこの新しい年を悔いのない一年にできるように、一日一日を大切に過ごしたいですね。本年も皆様の上に神様からの豊かな祝福がありますようお祈りしております。

2018年1月5日

石川三育保育園 園長 ミラージュエル